令和6年1月－3月期　板柳町景気動向調査

青森県内の景気動向（1月－3月期）

県内経済は年度末における個人消費は持ち直しているが、生産活動においては一服感がみられる。雇用情勢は緩やかに持ち直している。しかし、企業の景況感の悪化は２期ぶりに悪化し、今後も世界的な金融の引き締めや中国の経済先行き懸念など注視していく必要がある。

景況調査アンケート協力事業所

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
調査事業所数	6	9	12	18	45
有効事業所数	**5**	**5**	**9**	**12**	**31**

従業員規模	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
０人	0	0	2	2	4
１～４人	3	4	7	9	23
５～10人	1	0	0	1	2
11～20人	1	1	0	0	2

過去３ヵ月（R５年１０月～１２月）と比較して、どうですか

Q1 売上額について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1　増　加	2	2	2	3	9
2　横ばい	2	1	5	7	15
3　減　少	1	2	2	2	7

Q2 今後３ヵ月の売上単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1　増　加	3	2	3	2	10
2　横ばい	1	1	5	9	16
3　減　少	1	2	1	1	5

➡ 全業種において価格転嫁の傾向がみられ売上額は増加傾向にある。

Q3 仕入単価について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1　増　加	5	3	6	7	21
2　横ばい	0	2	2	5	9
3　減　少	0	0	1	0	1

Q4 今後３ヵ月の仕入単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1　増　加	4	2	6	6	18
2　横ばい	1	3	3	6	13
3　減　少	0	0	0	0	0

➡ 引き続き増加傾向にあり、値上げに歯止めがかからない状況が続いている。

Q5 採算（収益）について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1　増　加	1	0	0	0	1
2　横ばい	3	3	5	9	20
3　減　少	1	2	4	3	10

Q6 今後３ヵ月の採算（収益）の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1　増　加	2	0	0	0	2
2　横ばい	2	4	5	9	20
3　減　少	1	1	4	3	9

➡ 価格転嫁の影響もあり収益減少と回答した業種は減少している。

Q7 資金繰りについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1　好　転	0	0	0	0	0
2　横ばい	4	5	8	10	27
3　悪　化	1	0	1	2	4

Q8 今後３ヵ月の資金繰りの見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1　好　転	0	0	0	0	0
2　横ばい	5	4	9	11	29
3　悪　化	0	1	0	1	2

➡ 50％以上が横ばいとし、今後も同等に推移していくと見通している。

Q9 設備投資について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1投資した	0	0	1	0	1
2投資しなかった	5	5	8	12	30

設備投資をしたいと回答した業種が15%を超え今後も設備投資は増加が見込まれる。

Q10 今後３ヵ月の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1投資したい	2	0	0	3	5
2投資しない	3	5	9	9	26

Q11 労働力について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1　増　加	0	0	0	0	0
2　変わらない	4	4	9	12	29
3　減　少	1	1	0	0	2

90%以上が変わらないとの回答をしており、横ばいが続くと見通している。

Q12 今後３ヵ月の労働力見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1　増　加	0	0	0	0	0
2　横ばい	5	5	9	12	31
3　減　少	0	0	0	0	0

Q13 前期と比べた景況の現状判断

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1良くなっている	3	0	1	1	5
2変わらない	2	4	4	9	19
3悪くなっている	0	1	4	2	7

一部事業者は景況は持ち直す見通しだが、全体的には未だ不透明な状況が続く。

Q14 今後の景況の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1　良くなる	2	0	1	3	6
2　変わらない	3	5	8	7	23
3　悪くなる	0	0	0	2	2

Q15 最も最優先される経営課題（複数選択可）

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1需要の低迷	1	0	0	0	1
2販売価格の低下	0	0	2	0	2
3原材料の高騰	4	4	3	10	21
4人件費の増加	4	3	0	2	9
5取引条件の悪化	1	1	1	0	3
6同業者との競争激化	1	0	2	1	4
7人材確保難	1	1	0	1	3
8経営者の高齢化	1	0	2	4	7
9後継者難	0	0	0	4	4
10その他	0	0	0	0	0

原材料の高騰が課題として挙げられることが多く価格転嫁している業種も増加しているが価格が追いつかず、顧客離れも懸念されるため足踏み状態が続いている。

板柳町の景気動向（1月－3月期）

引き続き原材料の高騰、経営者の高齢化を経営課題としてあげる事業所が全般的に多く、値上げが続く状況が長期化している状況における資金繰り、事業承継への対応が求められる。

また、景況感は足踏み状態が続き各種政策の期待感があるが、県内経済同様に今後は悪化が懸念される。